

(様式6)

(収集運搬業者用)

平成 28年 7月 22日

長野県知事 様



平成 28 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

| | | |
|---|---|--------------|
| 協定期間 | 平成 26年度から平成 28年度 | |
| 会社名 | 川中島建設株式会社 | |
| 住所 | 〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田955番地3 | |
| 代表者名 | 代表取締役社長 | 小川 亮夫 印 |
| 許可番号 | 2008072913 | |
| 積替保管施設 所在地 (施設を有する場合のみ、複数あ る場合はそれぞれ記入) | 施設名 | 所在地 |
| | 積替保管施設なし | |
| 担当部署 | 営業部 | |
| 担当者名 | 小出 宗一 | |
| 連絡先 | TEL | 026-292-1341 |
| | FAX | 026-292-2111 |
| | 電子メールアドレス | |
| ホームページアドレス | http://www.kawanakajima.co.jp/ | |

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物の収集運搬業者として、排出事業者及び処分業者と連携し、廃棄物の適正な収集、運搬を行うことはもちろんのこと、廃棄物の搬出抑制、リサイクル率の向上のための提言（分別の徹底等）を行う。

また、社有車の適切な車両運行（点検、車検、運行距離など）を行い、自動車排出ガスの低減に努め、地球環境の保全に貢献する。

電子マニフェストの運用について情報を収集・検討をする。

2 産業廃棄物処理責任者等

| 職 | 氏 名 | 職務内容 |
|----------|-------|----------------------|
| ISO管理責任者 | 寺澤 正雄 | 産業廃棄物についての総括管理責任者 |
| 工務本部部長 | 小椋 公一 | 土木工事の産業廃棄物についての管理責任者 |
| | | |

*必要に応じ管理体制組織図等を添付する。

3 産業廃棄物の種類、運搬量、運搬方法、許可車両等に関する情報公開

| |
|--|
| <p>運行車両については、収集運搬車である旨の表示を所定の大きさに「社名」「許可番号」「運搬する廃棄物」を明示して運搬する。</p> |
|--|

4 積替保管施設の地域への公開（積替保管施設を有する場合のみ）

| 施設の名称 | 公開計画の有無 | 公開計画の概要又は公開計画無しの理由 |
|----------|---------|--------------------|
| 積替保管施設なし | 有・無 | |
| | 有・無 | |

5 従業員教育（研修）計画

| 項 目 | 教育（研修）計画内容 |
|---------|--|
| 社員運転講習会 | 環境に負荷の少ない運転方法について適時講習会を行い、環境負荷の低減を図る。ISO14001の運用を図る。 |
| 現場作業員教育 | 社内安全パトロールにおいて、随時産業廃棄物減量化・適正処理の実践について指導、検討を図る。 |

6 排出事業者、処分業者への協力要請

| |
|--|
| <p>主な取引先を対象に、研修会を開催（年1回）し、廃棄物収集運搬の実績から得られた排出量抑制あるいはリサイクル率向上のためのノウハウ及び協力事項などの情報提供を行う。</p> |
|--|

7 不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

運転手をはじめとする社員に不適正処理に対する注意を喚起させ、不法投棄など不適正処理と思われる廃棄物を発見した場合には、直ちに関係機関に連絡をとり、情報提供に心がけ、原因者の究明に協力する。

8 自社処理廃棄物の管理方法

なし

9 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項（例：運行管理など）

・環境認証制度※の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

・運行管理計画を策定し、効率的な配車を行い、適正な運搬と運転者の安全運転の確保を図る。
・運転車両について、社名や許可番号を大きく表示し、当社の車両であることをわかりやすくする。
・運搬車両の清掃美化に努め、イメージの向上を図る。
・産業廃棄物3R計画書、実施報告書を年度ごとに自社ホームページにて公開する。

※環境 ISO 14001、エコアクション 21 等